

陳情第15号「銭座防空壕群の保存・活用を求める陳情」について

目次	ページ
1 九州新幹線西九州ルート建設工事現場（天神町地内） で確認された防空壕跡について	1～2
2 位置図	3
3 各防空壕の現状	4～5

原爆被爆対策部

まちづくり部

平成30年11月

1 九州新幹線西九州ルート建設工事現場（天神町地内）で確認された防空壕跡について

（1）概 要

九州新幹線西九州ルート（事業者：鉄道・運輸機構）の新長崎トンネル坑口付近（天神町地内）の建設現場において建物を解体したところ、2月に法面に複数の防空壕跡が確認されたもの。現在、建設工事が進んでおり、全15箇所のうち11箇所が掘削・埋戻されている。



（2）長崎市の方針

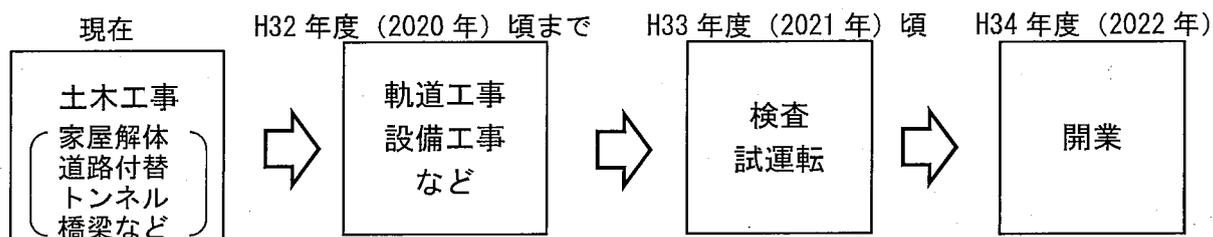
現在も市内に数多く残る防空壕跡の一つであり、被爆建造物としての保存対象とは考えていない。

【理由】

- 平成30年2月6日、地元関係者から情報提供があり、長崎市（原爆被爆対策部、まちづくり部）で現地を確認するとともに、事業者（鉄道・運輸機構）に協力要請を行い、防空壕跡の数、幅、高さ、奥行き等を計測し、壕外から写真撮影して現状の記録を行ったが、被爆の痕跡は見受けられなかった。
- 原爆資料館で保存している写真の中には、当該防空壕跡に着目して撮影しているものはなく、戦後、原爆の影響について克明に調査した「米国戦略爆撃調査報告書」「日本学術研究会議 原子爆弾災害調査報告書」にはこの防空壕跡についての記載は特になかった。また、「長崎原爆戦災誌」等、他の文献においても当該地域の防空壕の記述はあるものの、当該防空壕跡と特定できる記述はなかった。

なお、今回の防空壕跡は、新幹線建設工事に伴い新しく築造される擁壁や、車道・歩道の切替に支障があるところに位置しており、鉄道・運輸機構からは、「斜面の安定を図り、新幹線構造物の安全性を確保するためには、15箇所全ての防空壕跡を撤去する必要がある。」との考えが示されている。

(3) 新幹線建設工事スケジュール (予定)



【防空壕への措置状況と今後の予定】

現在 11箇所 (番号5~15) 工事に伴う掘削・埋戻し済み

平成31年1~2月頃 4箇所 (番号1~4) 工事に伴う掘削・埋戻し予定

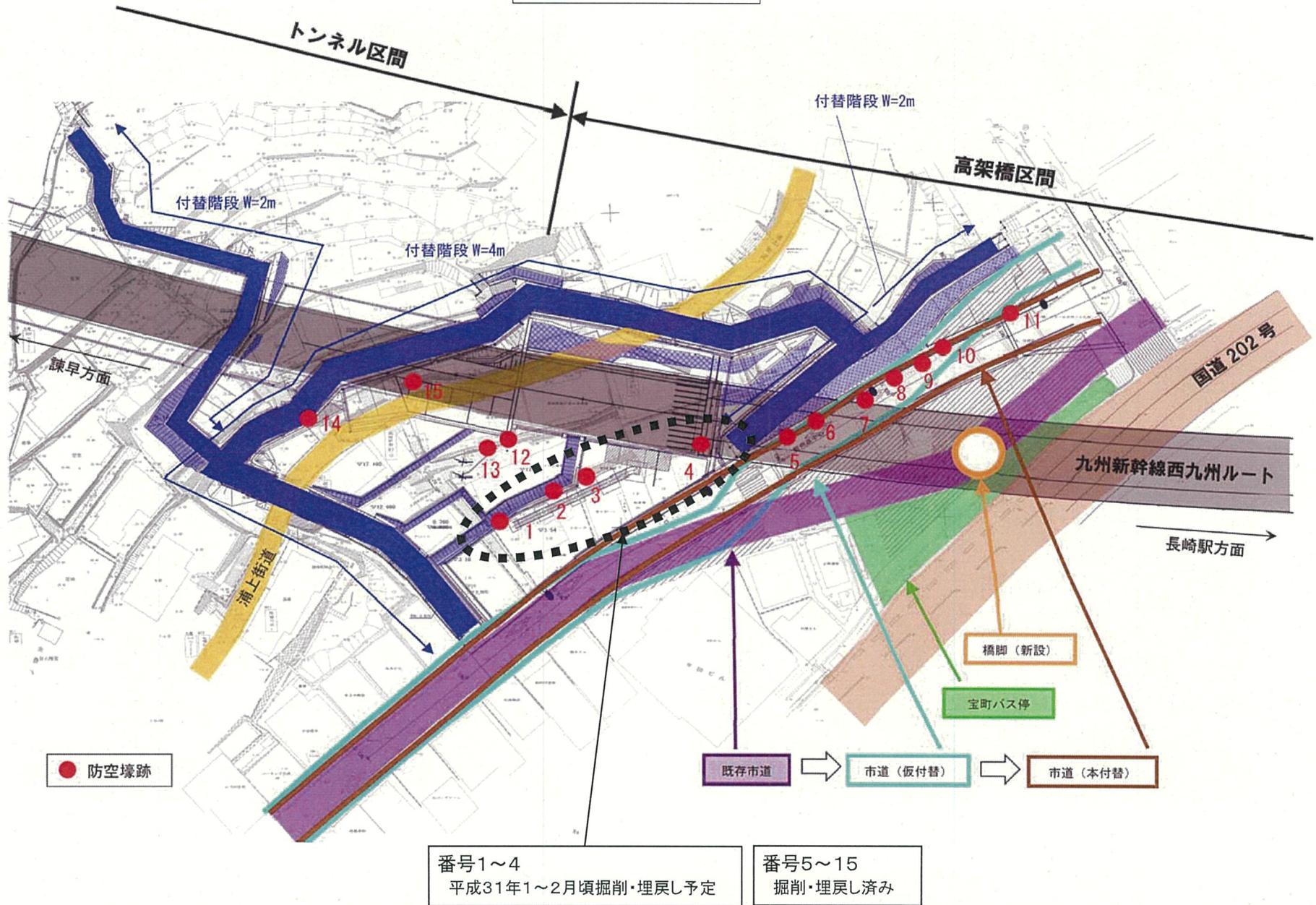
※今後の工事の進捗や施工計画の見直しにより、時期は変更となる可能性がある。

【参考】 これまでの陳情等の経過

※敬称略

期 日	内 容	団 体 名
平成30年2月20日	長崎市に対し要望	長崎地区労働組合会議 (議長 小宮伸二)、西坂・銭座小学校区勤労者協議会 (会長 中村住代)
平成30年2月27日	市議会に対し陳情 (3/7 教育厚生委員会審査)	西坂・銭座小学校区勤労者協議会
平成30年3月13日	長崎市に対し申し入れ (1回目)	在外被爆者支援連絡会 (共同代表 月川秀文、岩松繁俊、平野伸人)、平和活動支援センター (所長 平野伸人)、平和公園の被爆遺構を保存する会 (代表 竹下 芙美)
平成30年3月16日	長崎市に対し申し入れ (2回目)	同上
平成30年4月9日	「 <u>銭座防空壕群を保存する連絡会</u> (共同代表 中村住代・月川秀文)」を結成	〔構成団体〕 西坂・銭座小学校区勤労者協議会、在外被爆者支援連絡会、平和活動支援センター、平和公園の被爆遺構を保存する会、長崎地区労働組合会議
平成30年4月18日	長崎市に対し申し入れ (1回目)	銭座防空壕群を保存する連絡会
平成30年4月20日	鉄道・運輸機構に対し要望	同上
平成30年5月7日	鉄道・運輸機構に対し抗議	同上
平成30年5月16日	長崎市に対し要請 (2回目)	同上
平成30年6月12日	市議会に対し陳情 (6/20 教育厚生委員会審査)	同上
平成30年7月30日	長崎市に対し要請 (3回目)	同上
平成30年9月6日	市議会に対し陳情 (9/14 教育厚生委員会審査)	同上
平成30年9月26日	長崎市に対し要請 (4回目)	同上
平成30年10月10日	長崎市に対し要請 (5回目)	同上

2 位置図



3 各防空壕の現状

防空壕跡1

平成30年12月5日(水) 9時頃撮影



防空壕跡2、3

平成30年12月5日(水) 9時頃撮影



防空壕跡4

平成30年12月5日(水) 9時頃撮影

